

入場
無料

公開講座

6時
開場

新潟医療福祉大学 国際交流事業

パネル展示
あり

- 日時 2015年3月4日(水)午後6時半～8時
- 場所 新潟大学 駅南キャンパス「ときめいと」(プラカ1 2階)講義室
- 対象 国際協力に関心のある方
- 言語 日本語(一部英語併用)
- 定員 先着110名
- 申込 下記、問合せ先へ
- 問合せ先 新潟医療福祉大学 理学療法学科
古西 勇(こにし いさむ)
Email: konishi@nuhw.ac.jp
電話: 025-257-4732 / 080-8025-8484

申込時は氏名のみ
お伺いしています

●内容
国境なき医師団(MSF)は、2014年、西アフリカでのエボラ出血熱流行の緊急事態において最前線で治療活動をする医療・人道援助団体として世界中から注目を浴びました。

MSFでは、医師、看護師など、1年間で約6千人の海外派遣スタッフが、約3万人の現地スタッフとともに約70の国と地域で活動を行なっています(2013年実績)。1999年には、ノーベル平和賞を受賞しています。

本講座は、MSF日本から、人道問題担当 責任者のクララ・ファン・ヒューリックさん(医師)と海外派遣スタッフ採用担当の白川優子さん(看護師)をお招きし、お二人を囲んで、新潟の一般市民の皆さんと国際協力について語り合うことを目的に企画されました。



●最新情報は以下のホームページをご覧ください
<http://msfinniigata.wikispaces.com/>
左のQRコードからも読み取れます

国境なき医師団の

医師と看護師を囲んで

国際協力について新潟で語り合う集い

3月4日(水)午後6時半

主催 新潟医療福祉大学
後援 新潟日報社、(公社)新潟県理学療法士会、
にいがた青年海外協力隊を育てる会



国境なき医師団日本
人道問題担当 責任者
医師 クララ・ファン・ヒューリック



MSFのエボラ治療センターから退院する少年とMSFスタッフ

会場「ときめいと」

アクセス

新潟駅南口から徒歩3分

公開講座の前日と当日の問合せ
はこちらの携帯電話番号まで:

080-8025-8484

当施設に本学専用駐車場はございません。公共交通機関または周辺の有料駐車場をご利用ください。

- 土日、祝日でも携帯電話で申込み、問合せをお受けしています。
- 当日、受付での申込みも承ります。

